

京交山岳部報

№309

'78 7月号

〔第1182回例会〕 京都府下30山 その8

長老ヶ岳

(R)

日 時 7月2日(日) 8.00 烏丸車庫集合
コ ー ス 京都一周山-安掛-三壁-長老ヶ岳-在路下山
担 当 者 近藤 薫 (TEL 075-961-0185)
備 考 大垣山岳協会他と合同で登る予定ですので多数参加してください。

〔第1183回例会〕 京都府下30山 その9

頭巾山

(T)

日 時 7月9日(日) 6.00 壬生交通局前集合
コ ー ス 京都一鶴ヶ岡-山森-上谷-府県境尾根-頭巾山-在路下山
担 当 者 本局 宮後正樹 (TEL 251) 申込み〆切 7日(金)
備 考 来年の京交山岳部創設30周年を記念して、今年1月の由良ヶ岳登山から始めた京都府下30山登山も回を重ねるにつれて、いよいよ佳境に入ってきました。頭巾山は品格、歴史、個性、眺望、標高等総合的に判断して、30山のうちきわめて上位にランクされる名峰です。1人でも多くの部員の方が1山でも多く登っていただくことによって記念登山を成功させたいと思います。よろしくご協力をお願いします。
マイカー利用 雨天決行します。 1/2.5万円「口坂本」

〔第1184回例会〕 比 良

へく谷

日 時 7月23日(日) 6.00 烏丸車庫集合
コ ー ス 烏丸車庫-花折峠-へく谷-小女郎峠-権現山-花折峠
担 当 者 梅津 吉田 武 (TEL 539)
備 考 夏山トレーニング例会ですので夏山参加者はぜひ参加してください。

〔第1185回例会〕 京都府下30山 その10

鳥帽子山

(R)

日 時 7月30日(日) 6.40 京都駅山陰線ホーム集合
コ ー ス 京都-福知山-(タクシー)-小牧-鳥帽子山
1/5万図「福知山」

担 当 者 本局 坂井久光(TEL 629) 申込み切 28日(金)

8月例会予告

8月3日(木)~6日(日) 南ア 茶旧岳、光岳 担当 本局 坂井久光(TEL 629)

8月4日(金)~6日(日) 台高の谷 大和谷、薫峰 担当 梅津 吉田 武(TEL 539)

。 今 月 の 集 会 。

日 時 7月11日(火) 午後7時から 下鴨寮
議 題 1. 例会(第1180~ 部員動静 報告
2. 8月例会(五条)について
3. 夏山合宿について 一当番 梅津一



ノ ー ポ イ 運 動

宮 後 正 樹

今年もまた6月5日から1週間、環境週間がくりひろげられた。今年のテーマは「よりよい環境を求めて」「市街地を流れるどの河川にもコイやフナが泳ぎ、上流にはアマゴがたわむれる状態」を目指す水質環境管理計画をスタートさせるということである。

また京都市の市民憲章推進テーマも今年度は「美しい自然環境を大切に」、実践目標として「空きびんや空きかんのノーポイ運動」「タバコの吸いがらのノーポイ運動」とし、全市民が地域、家庭、学校、職場などあらゆる場所で積極的に推進することが大切であるとしている。

汚濁の著しい河川に再び清流をと、各地で積極的な取り組みが行われているのは誠に望ましいことである。右京区の御室・天神川美化推進協議会では昨年6月以来、住民と流域企業の懇談会が持たれ企業間でも社会的企業責任の立場を自覚し、このほど協議会が設立総会を開き住民、企業、それに行政が一体となって地域ぐるみ河川美化の実効をめざすことになったほか、山科区でも急激な人口増加にもかかわらず下水道の不備のため各河川は汚れる一方で、山科川などは指定河川(水質

汚濁が著しく緊急に措置する必要があるもの)の一つになっている。このため少しでも汚濁をくい止めようと49年以来農家を中心に「山科の川を美しくする運動推進協議会」が、また企業側では40数社が加入した「山科公害防止企業協議会」がそれぞれ結成され自主的な美化対策に取り組んでいる。今年はこれに加えて自治連合会や保健協議連合会も仲間入りして区民ぐるみ美化運動の輪が広がっているという明るいニュースがあった。

反面、新古今集にもうたわれた古代の名川、左京区松ヶ崎を水源として下鴨神社の境内、糺の森を貫流している泉川の改修計画が「史跡指定に内定している以上、文化庁の許可がない限り現状変更はできない」と府文化財保護課から「待った。がかかり改修整備は当分お預けとなりました。王朝ムードただよふ古代の清流も石垣が崩れたり流域の都市化で生活用水も流れ込み放題、史跡保存か環境整備かで問題を投げかけている。

こんな時、上賀茂御園橋の東詰に「みんなでふるさとのもちと清い流れを公害から守りましょう」という京都河川美化連合会と賀茂川の源流を守る会の建てた白い立札看板が新調されて人目をひいている。表てには合流する賀茂川と高野川が描かれ、それぞれ源流に至るまでの流入する多くの谷名を記入したユニークな看板である。鴨川を美しくする会というのがあるが、賀茂川の源流を守る会というのは初めて知った。聞いてみると一口に鴨川といってもそれぞれ分担があって、美しくする会は北山橋から下鳥羽大橋までが一応の縄張りで、北山橋以北はこの源流を守る会の所管に属するらしい。

夏の風物誌、鴨川の納涼床づくりが始まったが、8月11、12日に夜店が並ぶ御池一四条間の「鴨川納涼」も今やすっかり市民におなじみとなり、今年は頂度10周年とあって鴨川を美しくする会では「鴨川のうた」を公募していたところ全国各地から835点もの作品が寄せられ鴨川の自然美、自然愛を象徴しているという。いずみたく氏に最優秀作を選んで作曲してもらい鴨川納涼の際にデュークエイセスの歌唱で発表することにしており、京都のシンボル「鴨川の流れ」をいつまでも歌い続けられるような作品が期待されている。

同会は今年4月の美化強調月間にも市中パレードや河川敷を利用したお茶会やクリーンハイキングなど相当な人を動員してなかなかPRは派手におやりになりお上手なのだが、人の集まるところ必ずクリーンではなくゴミが残るだけで美しくする実益なり意識がどれだけ上っているのか疑わしく関係者泣かせてはなかるうか。会の存在、趣旨のPRは結構なのだが実際に河川を清掃したり地域ぐるみのクリーンキャンペーンに今一度力を注いでいただきたいものである。

特にこれは源流を守る会の縄張りになるが、先ほどの北山橋以北、上賀茂橋の上流若狭川と御園橋上流右岸の西賀茂放水路からはき出される空きかんやゴミの氾濫は目に余るものがある。この川の流域の人々は自分たちの横を流れる川からどれだけのゴミが流出しているかを一度見ていただきノーボイ運動を徹底していただきたいと思う。これではアマゴはおろかコイやフナも一ベンに目を廻してしまいうだろう。

ノーボイ運動は町や川に限ったことはない。先日牛尾観音から千頭岳への東海自然歩道を歩いたが悲しいかな自然歩道はまさにゴミ歩道と化し尾根上に散乱した空きかんやゴミに腰を下すと

ころもない状態だった。しかもこの事実は、そこにゴミ箱やゴミカゴが置かれているばかりに余計に「持ち帰り」をしない習性を助長していることを物語っていたのである。

京都岳連の山の清掃も今年からは1人1人の意識向上への取り組みへと一歩前進することになったようだが、10年間続けて来た実践も自然歩道を歩く人達にまでは啓蒙する力は及ばない。ノーポイ運動、即ち「持ち帰り」を幼少からの全人教育でたたき込んで行くほかに防ぐすべはないのではなからうか。

第1175回例会

奥上林の山々

△581.8と△579.3

坂井久光

山陰線山家駅で下車、国道のバス停へ行き京都交通バス小仲行に乗り君尾山口で下車。君尾山は光明寺なる古刹の山号でお寺の北の山(543)を指すらしい。従って△581.7は奥君尾山とでも云うしかない無名峰だが調べでは2等である。林道を奥へたどると途中蛇紋岩が露出している所があった。府内では松尾寺や大江山に産出する。著我の咲誇る参道を登って国宝の仁王門を潜り、お寺へ行き縁起を尋ねた。寺伝によると推古天皇7年(519年)に聖徳太子により創立され、真言宗叡廟寺派に属し、あと役の小角が来寺し、延喜年間(901~922)に理源大師が真言道場を開き、寺領上林全域に及び、寺坊72を数え、後23坊を八津合に移し寺町となる。大永7年(1527)兵火により仁王門のみ残り全焼天文2年再建、現本堂は天保7年の建造とのこと。

絵葉書を買って本堂へ詣り旁がた後の竹藪の山へ入る。奥は杉林で笹のブッシュを越えて北側へ出ると林道が北へつづいているので林道へ下り君尾山の北麓へ出た。すると前方に谷を隔てて△581.8が伐採で丸坊主になっているのがよく見えた。

東へ廻り込んで尾根筋道を通って檜の立つ山頂へ。展望は西に弥仙山がぬきんで見え、北に丹後国境の山なみが、東に雑木の間から奥上林の山々が、南は君尾山始め上林川を望む。昼食後東へ小仲へ向って谷を下った。途中通り雨が降って大分濡れたが下ると杉林となり道に出て更に下ると川原に猪とりの竹製の檻が作ってあった。小仲のバス停で休み、バスで帰ろうかと思ったが晴れてきたので予定通り八代へ行き東へ古和木川沿いの車道を歩く。早稲谷橋を渡って杉林と伐採との境界の尾根筋の急坂に取付いて高度を稼ぐ。右へトラバースして杉林と伐採の境界を登って登頂。三角点は真新しく美しかった。

小憩後往路を途中迄下山。東側の谷に小道を見付けそれを下って登り口より200m程上手の小谷の出合に下山。八代を経て小仲に行ったがバスの出た後で下流へ向って歩き小前バス亭附近で大阪の青年の車に拾われ国道迄行き、山家駅から列車で帰洛した。

コース・タイム 5/21 7.05嵯峨駅-8.49~9.13山家駅-9.51君尾山口...10.15~10.25光明寺...11.05林間歩道11.30~50△581.8...12.45~13.05小仲...13.10八代...

14.15 ~ 14.20 △ 579.3 ... 14.56 分岐 ... 15.00 林道 ... 15.07 早稲谷橋 ... 15.26 ~ 15.30
小仲 ... 15.45 小前 - 16.25 ~ 16.29 山家駅 - 17.58 嵯峨駅

京都府下30山 その5

多称寺山と青葉山

三 橋 勉

日曜日の早朝に西京極に集合して国道9号線をスイスイと快適に走り2時間たらずで船のみえる東舞鶴を越えると、やがて前方に双峰の青葉山がみえてきた。

国道27号線から別れて国鉄小浜線の踏み切りを渡り田圃の1本道をまっすぐ北の方向に進み突き当りでUターンとなる個所からジグザグの登りとなり中腹の松尾寺に予定より早く到着した。こゝは西国第29番目の札所であるので朝早くから参拝の人達がありもう車が駐車してあった。

今日の参加者はファミリー登山にしては、珍らしく子供5人、大人4人のオール男性パーティである。石段を登って行くとお寺の境内の右奥に登山路があった。

例によって子供達を先頭にニョキニョキと子供達より高く延びた竹の子のある竹藪の中を通る。10分の登りで鳥居のある台地に出た。そこから見上げるように青葉山がそびえているのを見ると、かなり急な登りであろう事が想像出来た。

苦しい登り道であるが、所々に木の根がつかないように張り出しているのだからに付きながら登っていくと、色素がないという珍しいギンリョウ草が咲いていた。

「目に青葉、山ホトギスにカツオがないだけだね」と言いながら登る。途中で岩場がありチョッピリロッククライミングの感じが味わえた。

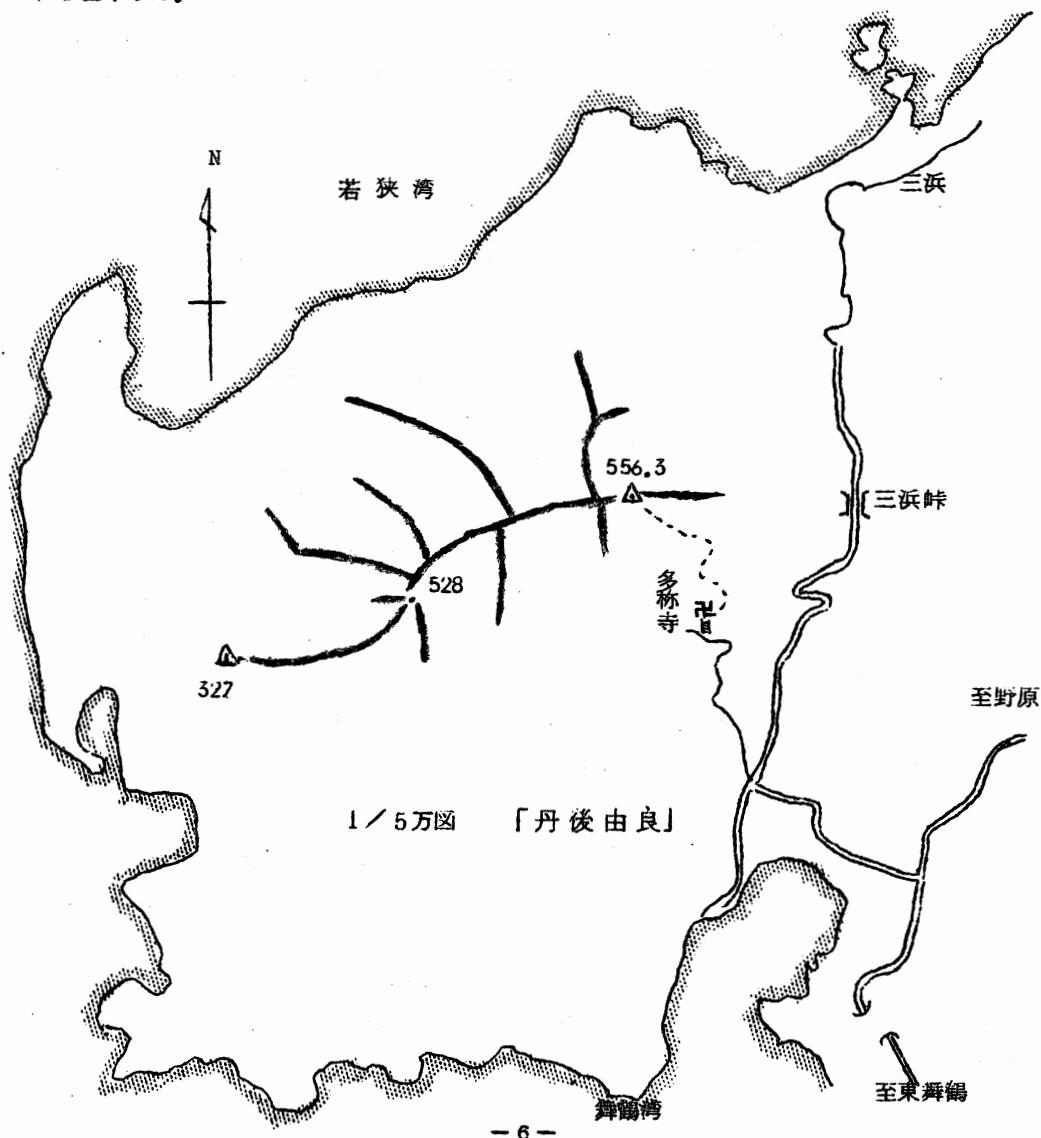
やがて石垣のある尾根へくると、3人の人達が小鳥を望遠鏡で観察しておられた。美しい小鳥の声を聞いていると今迄の登りの苦しさを忘れさせてくれるようなスガスガしい気持ちになった。さきに登っていったはずの子供達がそこらにいないので「ヤッホー」と声をかけながら尾根道を5分程進むと西峰の頂上にたどりついた。

こゝは松尾寺の奥の院ということで権現様の祠があった。「子供達はどこにいるのかな」と捜すと祠の傍方にある大きな岩の上から声がするので見上げると何と、1年と4年坊主がちゃんと上に登って「海が見えるヨ」と云っている。「どこから登ったんヤ」と云いながら岩のそばへ行くと凸凹した岩に足場があって登れるようになっている。上に登ってみるとナルホド「アッと驚く為五郎」ではないが、今まで暗い林の中を歩いて来たのとは対照的に素晴らしい視界が開けていて内浦湾の半島と海、そして小さな島が、船が、マッチ箱のような家々が眺められた。

東の方に目を向けると少し下って同じ位の高さにこんもり茂った東峰があり、その右に目を転じると若狭の山々が見えるはずなのだが残念ながらかすんでいてはっきりわからなかった。全員そろったところで万才三唱して、下の茶店で買ったまだ冷たいビールでカンバイする。

先程会った人達が登って来られて望遠鏡を見せてもらうことになった。30倍という天体望遠鏡のような1眼鏡なので三脚で固定して見せていた。子供達から順番にみせてもらうと船やイカダが手に取るように眺められた。東峰があるのだが、今日はもう一つ山に登らなければならないので望遠鏡の人達と別れてもと来た道を下山する事にする。急な下り坂なので、子供達に走らないより注意しながら下った。

お寺で少憩の後、今度は多称寺へ向けて車を走らせる。国道27号線を舞鶴へ戻る途中で朝来中という標識のある所で右折する。約20分程走った後、三浜へ行く道と別れてかなりせまい急な登り道を対向車が来たら離合する場所もない程(車の2線だけ簡易舗装してある)の道が多称寺へと続いている。やがて「寺」へと書いてある所を通過したので付近の民家の庭でUターンして脇道に車を駐車した。



こゝも山の中腹に多称寺というお寺がありさっきの賑やかさは正反対にひっそりと人っ気のな
いお寺の境内であった。

お寺で登山道を聞こうと思ったが人のけはいがないので、道らしい所を捜すと右奥に東の方へ行
く道がついているのでたどると展望台へと標識のある所で左折して北へ進むことにする。

今度はだらだらとしたゆるやかな登りで、いくら進んでも高度感がなくどれだけ登ったのか見渡
そうと思っても林の中で見透もきかないのと、先程急な登りで疲れたのか、かなりペースがにぶっ
てきているのとで現在地がつかめなかった。やがて右の方へ今までとは違って急な登り道がありそ
こを登りつめると閃電の反射板のある鉄塔に出たが付近はガスがたちこめて視界がきかない。仕方
なく元きた道に戻って10分程進むとやっと頂上に到着することができた。一等三角点をかこむよ
うな形で樅が立っており昨年行った歌垣山によく似た感じの頂上であった。その樅にもう子供達が
登っていた。先程の頂上と違いあたり一面ガスで何も見えならしい残念な事である。

昼食の後、せっかく来たのだからと宮後さんと共に樅に登ってみると寒いくらいであった。それ
でもしばらくしてガスが晴れてきてウッスラと海岸線が見えてきた。右をみると先程行った反射板
も同じ位の高さの位置に立っていた。残念ながら由良ヶ岳方面までは見る事が出来なかった。例
によって広瀬君が持参してくれた京都府下30山の標識に全員サインしてそこで記念写真を取り下
山することにする。お寺に帰る手前の展望台に行くと頂上天の橋立のように又覗きをするように書
いてありそのとおりに眺めると成程「絶景かな」であった。頂度舞鶴湾のおだやかな海が見え、船
がいくつか碇泊していた。東の方には青葉山もうっすらとみえた。反対側の山の頂上付近とみると
やはりガスで見えなかった。

頂上で展望がきかなかった分をこゝで充分眺めることが出来た。

同行者 宮後、広瀬、田中(清一、英樹) 三橋(広、正、功)

コースタイム 松尾寺 8.35…台地 8.50…石垣のある尾根 9.30…青葉山西峰 9.30～10.20
下山…10.50 松尾寺 多称寺 12.00～12.05…反射板 12.40…△頂上三角点
12.50～13.00 下山…多称寺 13.40

京都府下30山 その6

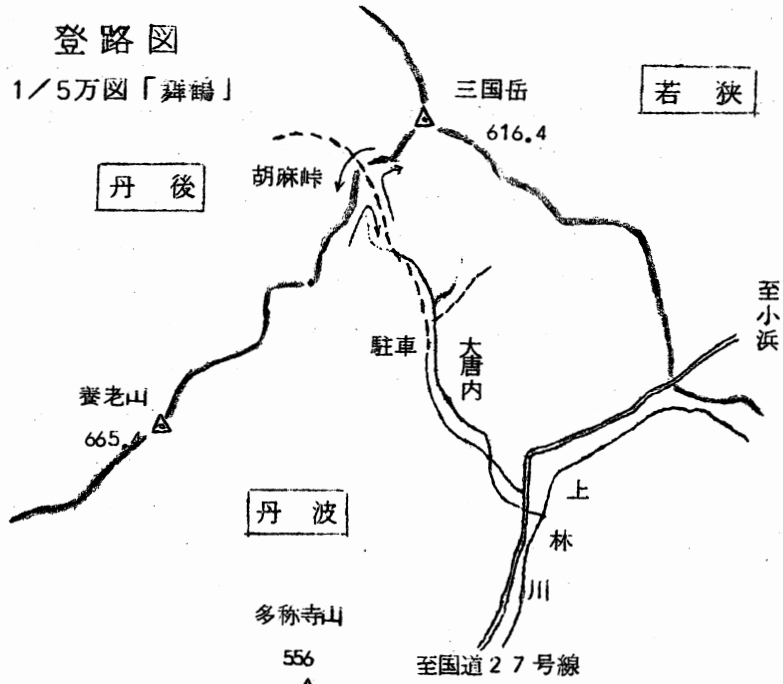
三国岳から養老山

田中忠久

坂田さんと私と、2人になってしまったが「天候が良さそうなので行きたいのだが…」「そんな
ら行こうか」と相談がまとまり予定通り決行することにした。昨日、私の勤務終了が深夜になっ
たので、坂田さんが5時過ぎ、九条車庫まで迎えに来てくれた。助手席でうとうとさしていたとい
ている間に、すでに車は上林川沿いの道を走っており、大唐内の村のすぐ奥で林道は終わった。車を止
め、身仕度を整えて出発である。

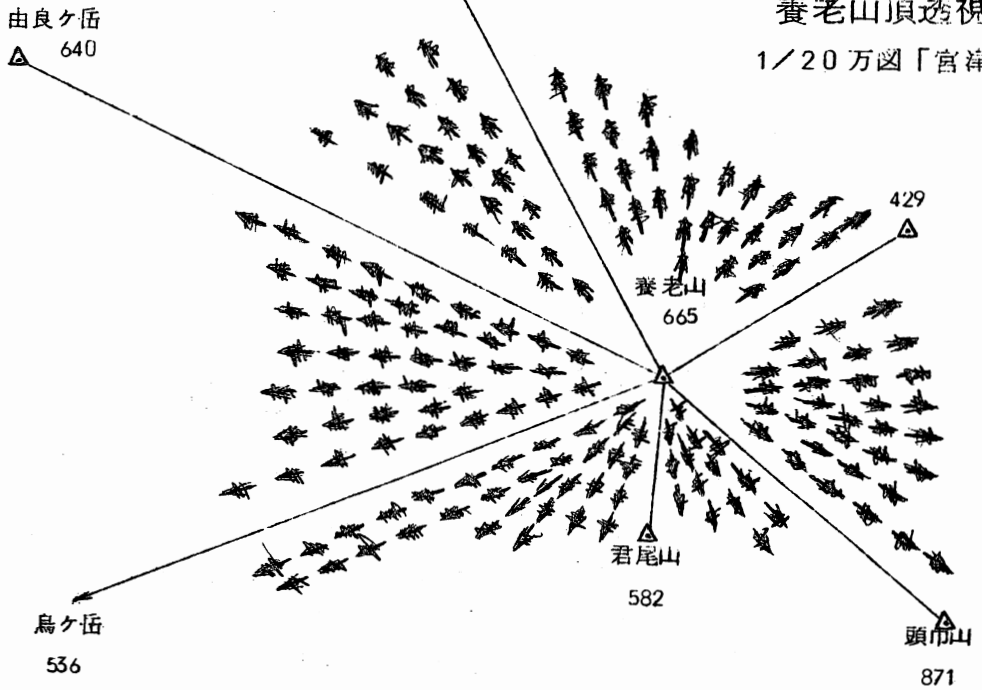
登路図

1/5万図「舞鶴」



養老山頂透視図

1/20万図「宮津」



予想通り天候はすばらしい。草深い道を約30分で胡麻峠に登る。初めての山頂、初めての峠に登るとき、そこはどんな処だろうと少なからず胸のときめきを感じるものだが、胡麻峠は峠路と尾根沿いについている関電の巡視路が交叉している静かな峠であった。(もっとも山頂を動、峠を静と感じるのが一般的な第一印象ではあるが…)青葉、若葉のむんむんする峠でもあった。

5万分の1図「舞鶴」には国境(丹波・丹後)尾根を横断する送電線しか記入されていないが、新たに国境尾根に沿って縦断する送電線が架設されている。その巡視路を東へ三国岳に登る。山頂には送電線のカラフルな鉄塔が建っており、東方に展望が開けている。美しい高浜の海、重畳たる若狭、丹波の山波、そのすばらしい風光を目前にしての朝食は最高の気分を味わってくれた。

三国岳山頂から再び胡麻峠に下り、西へ巡視路に沿って養老山を目指す。この路はどこまで続いているのだろうかと多少不安ではあったが、送電線は養老山を越えているので、巡視路も同じように続いているだろうという希望的予想のもとに登って行った。

峠から2本目、3本目の鉄塔の位置から先週登った青葉山や多称寺山、美しい舞鶴湾が見渡せた。丹後の国である。三国岳から眺めた丹波、若狭の国…美しきかな日本の感を深くするものがあった。6本目の鉄塔からは西南に弥仙を望むことができた。

そして養老山頂である。樹木が鬱蒼とした山頂であるが、測量のため6方向に樹木が伐採されており、北から多称寺山、由良ヶ岳、烏ヶ岳、君尾山、頭巾山、△429等を指向している(別図参照)。地図と照合しながら1山1山確認していくのは楽しかった。

少し休んだのち、下山ルートをいろいろ検討したが、往路を引き返すのが最も良いだろうと云うことになった。途中、展望を楽しみながら胡麻峠を経て駐車場所に戻ったのは丁度12時であった。巡視路のおかげで大巾に時間短縮の出来た山行であった。川の水で身体を洗いさっぱりした気分で帰路についた。

6/1 九条車庫 5.10 一大唐内林道終点 7.30~7.40…胡麻峠 8.10~8.15…三国岳 8.30~8.50…胡麻峠 9.05…養老山 10.15~10.45…胡麻峠 11.35…林道終点 12.00~12.20 一近鉄東寺 14.55

山岳連盟遭難救助訓練

6月4日 比良明王谷 (雨)

岡田茂久

当日は夜来より激しい雨にみまわれ、前夜営組のテントにも浸水するなどのあいにくの天気でしたが、救助訓練には絶好の天候とばかりに決行となりました。訓練は明王谷三の滝にて、登山者が転落し重傷を負ったとの想定のもとに、谷通しにて救搬出すことになり、岳連各加盟団体より参加した数十名のベテラン達及び山岳連盟ハムクラブの協力により実施されました。岳連としては初

めての谷における遭難救助訓練にもかかわらず雨中のことでもありまして多少のとまどいや、支援パーティのゴムボートの転覆等のハプニングもありましたが、無事仮想遭難者を坊村まで搬送し、搬出技術の研究、練磨と岳連加盟団体相互の連繫を深めることができ、又ハムクラブによる通信技術の実地訓練の成果もあがるなど有意義な1日でした。今後京交よりもこのような催しにはより多くの参加者を望みたいものです。

参加者 守山、岡田

東海自然歩道

53.5.14 晴

畑 照 人

阪急東向日駅を出ると、いつも善峰寺の参拝バスが待っているのにそれがない。一般乗車の列が長く並んでいる。よく聞いてみると巡拝バスは4月で最終となったとのことである。臨時バスが出たのでそれに乗り小塩で下車(終点) 先づ善峰寺参詣。いつもながら善男善女で一杯だ。山裾はツバキの花が満開である。少し進むと山藤とモチツツジ、ミツバツツジの花が咲いている。杉谷の部落へ入ると田の畦どもの合唱だ。もう初夏ではなくて夏である。気温も27°位になるだろうとの予報であった。ポンポン山への尾根道はチゴユリが沢山咲いていた。三角点のヤグラが取り外されていたのはどういうことか…。休日なので登山パーティーは多々済々である。一休みして早々に杉谷まで引き返しオオサカ峠から金蔵寺へ参る。山あいの田園風景を楽しみながら歩くのは気持ちよい。気温は高いが空気がカラッとしているのでさほど苦にならない。オオサカ峠から金蔵寺への道は素晴らしく良かった。だんだん下って行くので一寸心配になったが東海自然歩道の導標があるので安心して下る。愛宕大権現の社殿へ参る。入山料300円也である。この辺は石灰岩の露出した岩盤がありそれに化石が入っているらしく地学の研究団体が入っていた。途中に滝があったが飲用には良好らしい。小休後坂本へ下り南春日町のバス停へ出た。今日は快晴で休日だったので何処も入出で乗物も混雑したが愉快的な山行であった。

小塩 9.45 - 善峰寺 10.15...杉谷 10.40...ポンポン山 11.35...杉谷 12.20...オオサカ峠
12.35...金蔵寺 13.00...南春日町 13.45 バス

花に面会

5月28日 晴

本格的な夏を思わず気温である。明日辺から下り坂となる予報なので今日の晴天に久し振りに峠へ入る。そうそう峠の名は夜泣峠である。こちらの足も少し山へ入らないので夜泣きしている。日

曜日だというのに誰一人もあわない。勿論時間が真昼間だからバスが入らないのである。マムシグサとショウジョウバカマはもう盛を済んでいた。お目当のクリソウは今は最盛期である。その横にタツナミソウがほんの少し咲いている。これも今が見頃である。ヤマブキも太くて長いのがイヤという程あった。一寸人目にふれない所だからこんなに大きくなるまであるんだと思う。蛇君にも二匹お目にかゝる。これからの山入りにはしばしば出合い相手だ。それに虫共がブンブンうるさいけれど蟬の声と鶯の美声に大いに山の空気を楽しんだ。そうそう道にはモチツツジが満開でその芳香にまるで桃源境とはこれかなと思った。

モリアオガエルと山

6月7日 晴

久しぶりで自転車で大文字山へ行く。今日の目的は兩宮社前の池でモリアオガエルが巢をかけているかどうかである。七廻り口の入口に京大人文科学研究所の駒札が新しく立てられてあって大文字山と附近の史跡の説明が書いてあった。山は緑の季節で青青青の一色である。モチツツジの芳香が鼻をつく。

予想通り卵のかたまりが木に下っていた。ソフトボール大の大きさで、少し小さいように思うが梅雨の雨のふる頃に池へオタマジャクシとなって落下するそうである。今年はその頃来て見たいと思う。今日は鶯がよく鳴いている。私の足音を聞いて逃げるところかこゝは私の縄張りだ。と云わんばかりに一層声を張り上げて鳴くのもいて、楽しさで気持が一杯であった。三角点は測量中らしく旗と白板三枚が並べてあり5月31日に設置されたいらしい。

高野・龍神スカイラインから十津川

三 浦 貞 義

5/27	AM 7.00	八条口 出発
	9.00 ~ 9.30	檜原神宮 休憩
	11.00	高野山下 ラーメン等購入
	11.40	高野山
	11.45	奥ノ院
	12.05 ~ 12.15	陣ヶ峰登り口 登頂準備
	12.20	1等三角点(陣ヶ峰) Δ 1,106 m
	12.25 ~ 12.35	祠(蔵王堂 ?)
	12.40 ~ 12.50	登り口
	13.05 ~ 13.50	高野山奥ノ院参拜
	14.10 ~ 14.55	竜神への途上の水場 ラーメン

15.30 箕峠通過
 15.55 護摩ノ壇山登り口
 16.15～16.30 頂上 1,370 m
 16.55 登り口出発
 17.45 竜神温泉ロッジ泊
 19.00 夕食

5/28 竜神～十津川

5.30 起床
 7.45 朝食
 8.30 竜神温泉出発 ガソリン補給
 8.50 天珠倉見学
 9.30～9.45 牛廻越(峠)
 11.15 蕨尾別れ通過
 11.40～12.55 熊野本宮 昼食
 13.10 つり橋
 13.40 十津川温泉
 14.30 風屋ダム
 15.00 つり橋(名勝 谷瀬の吊橋)
 17.00 吉野川通過
 18.50 石上神社
 19.15 京都

例 会 報 告

例会No	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記 事
1175	奥上林の山	(変更) 5月21日	晴 曇	本局 坂井 久光		無名峰の三角点2つ、1人で踏 んで来た。 別稿報告
1176	多称寺山と 青葉山	5月21日	晴 曇	本局 三橋 勉	宮後 正樹 広瀬 烈 田中 忠久 甥と子供、 三橋子供3人	6時に西京極体育館前に集合、 マイカー3台に分乗して2時間 少々で松尾寺に着く。1時間余 りの登りで青葉山頂へ、すばら しい海の眺望だった。さらに多 称寺山へ…。 別稿報告

1177	高野山より 竜神温泉 △陣ヶ峰と 護摩ノ壇山	5月27日 ～28日	晴	本局 岡田 茂久	山村敏郎氏 王生そと氏 宮後 正樹 奥村 弘信	砂とホコリだらけの稜い道であつたが、全員元気に陣ヶ峰の一等三角点を踏み、高野山へお参りし、ラーメンの昼食で楽しい山岳ドライブ旅行でした。 コースタイム別稿報告
				三浦貞義、夫人、渡辺朋子、三橋勉 以上 9名		
1178	養老山と 三園岳	6月 1日	晴	名誉部員 (山村敏郎)	坂田 利春 田中 忠久	担当者の都合悪く、二人で例によって早立ち、早帰りの予定どおりのコースを快適に登ってきた。 別稿報告
1179	比良 明王谷	6月 4日	雨	本局 岡田 茂久	宮後 正樹 守山 寿彦	ドンシャプリの雨の中、前日の土曜日花折峠でテントをはり当日雨の中ボートがでんぶくするというハプニングがあつたが予定どおり救助訓練を行った。

部 員 動 静

〔入 部〕 上島 昭二

〔異 動〕 五条へ 伊地知 文男(九条)

〔住所変更〕 梅津 篠田 勝美 右、西院東貝川町17 TEL 315-2008

〔訂 正〕 先月号の錦林 生田 敏雄氏の退部は誤まりにつき訂正しておわびいたします。

雑 報

6月集会報告

出席者 名誉部員 畑 照人氏

本 局 大槻、武田、坂井、三橋

梅 津 吉田、篠田

以上 7名

例回報告のあと11日に行く千頭岳の打合せと、夏山合宿の参加予定者を発表した。

参加予定者 吉田、岡本、徳野、大槻、沢井、篠田、徳田、三橋 (未定者 武田、宮後、広瀬)

厚生会 登山大会 予告

妙高山

日程 8月17日(木)～19日(土)
行程 1日目 京都発 15.00 長野市を経て
2日目 燕温泉着 1.30 妙高山登山 8.00～16.00
燕温泉(18日泊)岩戸屋 宿泊
3日目 " 発 7.40
戸隠高原・長野善光寺を経て 京都着 19.30

 部費受領

5 3年度分と臨時会費

九条 羽根田一男、田中忠久、伊地知文男、山田精一、広瀬 烈、鷺見敏一
横大路 小林達雄、大西純一、井上国雄、清水 譲、進藤義治、福田延行
本局 三浦貞義、村 宗松、武田喜久郎、宮後正樹、関本俊雄、大槻雅弘、
上田 隆、佐々木敏夫、楠とし子

5 3年度分

市役所 大伴嘉男、山崎文夫、河島健次
本局 吉村忠行、宮本吉章、大切照男、渡辺朋子、相田正雄、加地卓男、
前田文男、水谷俊夫、菅 征三、池田弘之

一般寄附金 山本信治郎 2,000円

 企画運営・リーダー会議報告

6月19日 武田宅

1. 夏山合宿

所 台高東面官川谷支流 大和谷より台高山脈を横断して三ノ谷へ。

日程 8月3日夜発～8月6日 予備日(8月7日)

担当 梅津 吉田 武

2. 8月例会

夏山合宿(大和谷) 日時 8月3日～6日 担当 吉田

八ヶ峰 " 8月24日 " 山村

3. 8月集会和企画運営リーダー会議

集会 8月10日(木) 下鴨寮

リーダー会 7月20日(木) 鷺見宅

4. その他 府民登山大会 次回決定

厚生会 夏山 妙高山 燕温泉をベースに登る。 8月17日～19日

7月2日 大垣山協より岳友来京 希望により長老ヶ岳に登る。

〔訂正〕 先月号第1180回例会 千頭山は千頭岳でしたのでここに訂正しておわびします。

PRO SHOP
山とスキー **チロル**
輸入品とオリジナルの店
AM 12.00 ~ PM 9.00 三条御幸町下
定休日 月曜日 (221) 6186

Horike まかせて下さい…ネ
HORIKE 山とスキー
KYOTO のことなら…
☆在庫豊富にとり揃えています
☆山の道具は“ゼヒ”御相談下さい
山とスキー専門店
ビッグホリイケ
河原町店 上・河原町通丸太町東入
烏丸店 中・烏丸丸太町南下ル東側

HIKE & CAMP
この用具の事なら「二」が一番です!
御来店ありがとうございます
山とスキー レジャースポーツショップ
そして 海の
二
中・二条通河原町西 TEL 231-1208

帆布・遮布
テント・シート
雨合羽
木村工業有限会社
京都市中京区ミブ車庫前
TEL 801-5331 (代)
名古屋営業所
名古屋市西区児玉町7-30
TEL 521-7541 代~4

昭和53年7月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局 内 京交山岳部

お馴染みのスポーツ店

一般スポーツ用品・用具

家庭用体操器具

購買証でご利用下さい

KK 西沢スポーツ

中、釜座御池下ル

TEL 221-5739



真の専門店として

好日山荘は前進しております

山とスキー用具の

ことなら御まかせ下さい

確信ある用具を

確信ある価格で……

好日山荘



河原町六角下ル東入

TEL 241-1731

京都最高のアクアラング用品専門店

- ウェットスーツ製造直売
- 潜水器具特別割引販売
- 現役プロダイバーと全日本潜水連盟公認指導員による
安全確実な潜水指導 (毎週木曜 夜7時ヨリ)

**ダイビングプロショップ
エリート**

スキューバプロ (米)

京都総代理店

スキューバプロ

京都総販売元

AMF ポイト (米)

京都総代理店

テクニサブ (米)

京都総代理店

603 京都市北区堀川通北大路上ル東側

TEL 075 (492) 8450

テニス用品

スキー用品

山用品

交通局の皆さん

とりあえず 京菱へ

満足のいくようにします

京菱運動具店

下・大宮松原上ル

TEL 801-1331



山とスキーの店
京都 好日山荘

京都市中京区新町三条上ル

TEL 075-255-0288